

竹由来の植物性 乳酸菌

土作りから始める

野菜作り



株式会社 国元商会

良い土とは・・・水はけが良く、水持ちし、有機物を多く含んだ土

そんな土を作る事ができればとの思いからできた。

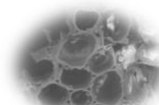
土壌改良資材：竹王「発酵熟成竹パウダー」

乳酸菌発酵



独自の発酵方法により、孟宗竹を100%原料とした無添加の乳酸菌発酵竹パウダーです。～550億個/gの乳酸菌があります。

製造方法



綺麗な竹を選別し、多孔質を生かした粉碎方法により700^{m²}/gの菌の住処を実現！竹に含まれる乳酸菌で嫌気発酵させました。

効果

イネ科の植物である竹はデンプンが豊富にあり、そのデンプンを乳酸菌等の菌がブドウ糖へ分解する事で、植物が根から糖分を吸収し糖度が上がります。菌が活発化する事で、ネバネバした成分を分泌し、その成分が土をくっつけ団粒化するとされています。

使用方法



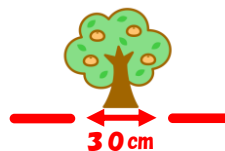
土にすき込む

- ・基本は50g/m²
- ・プランターは土の量に対し10%
- ・夏野菜は100%o/1反歩(10a)
- ・冬野菜は50%o/1反歩(10a)



土をそのまま覆う

- ・苗の高さと同じ幅の間隔を開け散布する。
- ・苗と同じ幅で適量散布する。



果樹栽培

- ・果樹の根元から30cm離して散布してください。
- ・70～80%o/1反歩(10a)
- ・果樹には竹王のマルキングが有効です。



稲作栽培

- ・田植え1ヶ月前の荒播き時に散布しすき込み下さい。
- ・育苗用の培土に20%混ぜ3週間堆肥袋等で嫌気発酵し覆土として使用する事で、根張りの良い苗に成長致します。

※3つの注意点

- ①消毒剤の使用後、1週間以上の間隔を経てから竹パウダーを使用する。
- ②竹パウダーを漉き込む際は散布直後に漉き込みを行う。
- ③苗植え・種まきは、漉き込み後三週間以上の期間を経てから行う。

発酵熟成竹パウダー

竹王

[内容量] 5kg/袋・1kg/袋



ほかし肥料や堆肥量に対し1%の添加じゃお試ししたい方は連絡待っているぞよ！

お問い合わせ

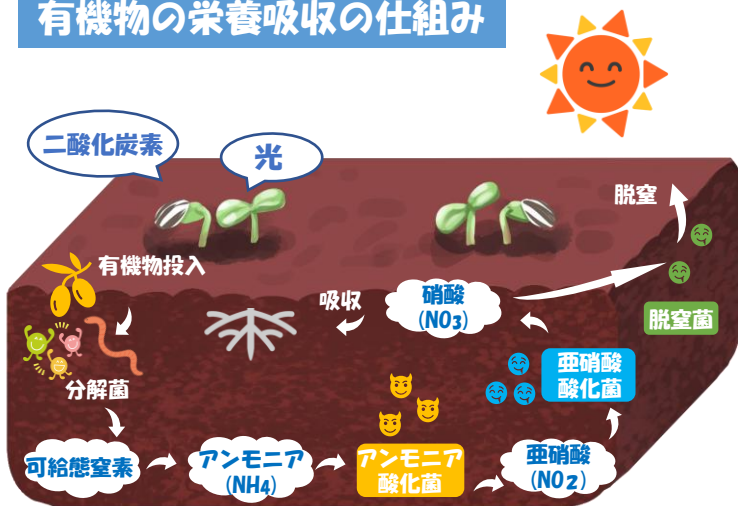
鹿児島工場(竹パウダーLab)/鹿児島県姶良市蒲生町下久徳1771-8

TEL: 0995-54-3535 FAX: 0995-54-3536 <http://www.kunimoto-s.co.jp>

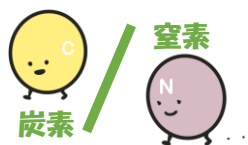
・植物はどう育つ？：微生物の力が重要！



有機物の栄養吸収の仕組み



・有機物活用の注意点：C/N比とは？

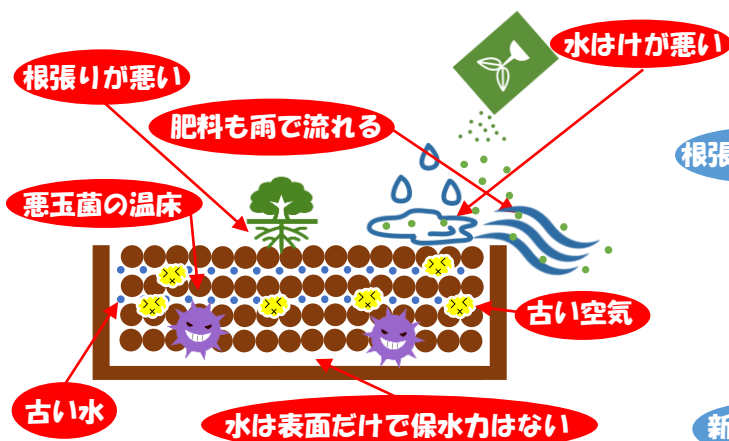


微生物も炭素と窒素を必要とします。
・炭素をごはん(活動エネルギー)に利用
・窒素をおかず(増殖)に利用

炭素を窒素で割った比率

- ・C/N比が20以下
分解が早く肥料効果が高い
- ・C/N比が20～30
理想的な比率
- ・C/N比が30以上
土壌改良効果が高い
(使用方法に注意が必要)

・土壌改良しないとどうなる？(土の団粒化)



土壌改良しない土
(土同士の間がない)



土壌改良した土
(土同士の間あり)

・事例集(農家の声)



根張りが良く、苦味も少ない

粒も揃い、収量が上がった。

